

# みやぎ地域づくり交流会

2014年1月1日

発行  
みやぎ地域づくり交流会

いま みんなの  
心でできることを

## きずな通信 No. 11

事務局  
宮城公民館内



地域づくりは人づくり、ふるさとづくり



みやぎ地域づくり交流会一同



▲ ほっかほかの焼き芋

毎年恒例となりました第6  
回のみやぎいいもん祭りを  
11月3日(日)に開催いたしま  
した。今年も「芋」をテーマにし  
た「いいもんケーキ、いいもん  
汁、焼き芋」などの数々の模擬  
店が並び、また中学生による  
輪投げコーナーや的当てコーナ  
ー、新企画のバルーンアート教  
室など楽しい催しが行われま  
した。当日は天候にも恵まれ、  
たくさんの方の来場者でにぎわ  
いました。

6th

みやぎいいもん祭り

盛大に開催



▲ 大好評の的当てコーナー



▲ バルーンアート教室

今回も福祉部会のチャリテ  
ィーバザーコーナーでエコキ  
ャップ運動を行いました。  
来場者及び関係者のご協力  
により約50kg(20000個)  
回収する事が出来ました。皆様  
ご協力ありがとうございました。

エコキャップ運動  
約50kgの回収



▲ 七字のキャラクター

今回、みやぎ地域づくり交流  
会ではオリジナルTシャツを作  
りました。スタッフはTシャツ  
を着て参加し、より絆を深め、  
来場者にはPRのため販売をし  
ました。可愛らしいデザインな  
ので女性に好評でした。随時イ  
ベントで販売したいと思いま  
す。

大好評!ゆるキャラ  
Tシャツ販売

荒砥川美化運動  
ポスターコンクール

自然文化交流部会では、先  
に荒砥川美化運動ポスター  
コンクールを開催いたしま  
した。宮城小児童の応募作品  
の中から厳正な審査をした  
結果、5点の入選作品を決定  
いたしました。

【みやぎ地域づくり交流会会長賞】



北爪 月渚さん

【宮城地区自治会連合会長賞】



吉原 穂華さん

【佳作】

- ★大野 歩夢さん
- ★山田 隼也さん
- ★眞隅田 佳恋さん

荒砥川美化運動

今年度2回目の荒砥川美  
化運動が10月26日に行われ  
ました。当日は台風27号が通  
過中という悪天候の中でし  
たが、17名のボランティアが  
協力して遊歩道の除草作業、  
清掃作業を行いました。



雨の中の除草作業

福祉交流部会

エコキャップ運動

平成20年度より行っているエ  
コキャップ運動も、皆様のご協力  
により大変な成果をあげ、累計で  
約二千百十二人分のワクチン代を  
送ることが出来ました。今後も同  
様のご協力をお願いいたします。



H25・4～10月

重量 ( Kg )	502.6
個数 ( 個 )	211,092
ワクチン換算(人分)	264

H20 年度～累計

重量 ( Kg )	4,172
個数 ( 個 )	1,689,552
ワクチン換算(人分)	2,112

七子ファミリー  
きずな劇場 第6話

新年会  
わいわい  
ばんぱーい!

はばくんおそいね  
おもしろいね  
おもしろいね

今年の干支は午(うま)だから、はりきって着飾ってくるって言うておったよ。  
LINEで入って

なるほど、はばくんは馬ですからね。楽しみでござる!

来た!

祝2年連続ゆるきやら  
グランプリ3位!!  
こしもよろしく!!

まさか...  
ぐ○まちゃん人気  
に乗るつとしてる!?

みやぎ地域づくり交流会

【歳時記】

御神幸と

阿久沢家



12月に、赤城神社において御神幸が行われました。この行事は三夜沢赤城神社と二之宮町赤城神社の間を御神体が往復する行事で、4月と12月の2回行われます。昔は二之宮町から徒歩で往復したことから、途中柏倉町の「興懸の森」(おこしかけ)で休息し、その時に柏倉町の阿久沢家の皆さんが接待をするのが習わしとなっています。事前の会場づくりも含め、昔から続けられてきた行事で大変ご苦労なことです。今では車で往復することから、昨年4月の御神幸を最後に接待はなくなりましたが、これからも語り継いでいきたいと思えます。

【宮城地区 石の伝説⑥】

苗ヶ島町の平釜石

馬場町と苗ヶ島町を縦断する県道102号線から市道一之渡戸線を右折してまもなく、左の松林の中に高さ50cmほどの石が見える。苗ヶ島町七つ石のひとつ「平釜石」である。上部に皿状のくぼみがあり、溜まった水で落ちた杉の枯葉が濡れていることが多い。むかし、この石の水量でその年の降雨量を占い、水が枯れると旱魃になるといわれていた。

三夜沢赤城神社西の山道沿いにある「すずり石」にも、皿状のくぼみがありいつも水が溜まっている。旱魃のときにこの水をかき回すと雨が降ると伝えられ、戦前には遥か遠方からも雨乞いに来たと今は亡き奈良原宮司から教えていただいた。

平釜石の水量をみてはその年の降雨量を推測し、旱魄のときは雨が降るのをひたすらに祈りながら、三夜沢のすずり石の水をかき回したのであろう。

(自然文化交流部会員

五百部 記)